

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設名	大島第二保育園
施設所在地	江東区大島4-1-6-130
法人名	江東区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

園には大きなチューブの絵の具しかなく、製作で使う際には保育者が量を考え、パレットに出してこども達が使用する形であった。絵の具を使用するこども達が色が混ざる様子を楽しんでいる姿を見て、自分で絵の具を好きなだけパレットに出すことができればもっと楽しめるのではないかと考えテーマに繋げた。

2. 活動スケジュール

5月1回目4グループ、7月2回目6グループ、9月3回目6グループ、1月4回目クラス全体での活動

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

素材・道具：1人1セットの絵の具（8色）、画用紙（白、黒、グレー）、筆（大、中、小）、パレット（3種類）、シート、乾燥棚、筆洗い他

環境：水道近く（保育室もしくはホール）に個人机を人数分つなげてシートを敷き、画用紙、筆、パレットは自由に選べるよう机上に並べてこども達に取ってもらう形にした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1. 1人ひとつ8色セットの絵の具を用意し、画用紙（白）の枚数制限なく、自由に絵の具を混ぜたり、描くことを楽しむ。
2. 自分で作った色をカードにし、その色にオリジナルの名前を付ける。
3. 画用紙を黒のみにし、1回目と同じように絵を描くことを楽しむ。
4. 色になりきって楽しんだことや気が付いたことを劇にして表現する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「自由に描けるって楽しい」という声がある。
- ・友だちのパレットと比べることで、同じ色でもよく見ると少し違うことに気が付いていた。
- ・白い画用紙に白の絵の具で描いてもあまり見えず、「白って何のためにあるの?」という言葉がある。混ぜることで「かわいい色」を作るために必要だということに気が付く。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・繰り返し絵の具や色に触れた活動を行うことで、色を作ったり、色を調整したりすることが上手になっている。
- ・周りの友だちを見て、同じ色を作ってみようと試行錯誤したり、どのように色を作ったのか聞いてやってみたり、影響を受けていた。その中で、同じ色を混ぜたのに同じ色にならなかったということもあり、探究活動に繋がっていた。